やつしろ 市議会だより

第40号
平成27年
9月1日発行

平成27年6月定例会

▲8月6日開催
新市誕生10周年記念事業
『八代市中学生議会』
（13ページに関連記事）

平成27年６月定例会会期日程

６月15日	(月)	本会議／開会
22日	(月)	本会議／質疑・一般質問
〜		
25日	(木)	
29日	(月)	建設環境委員会
30日	(火)	文教福祉委員会
７月 1日	(水)	経済企業委員会
2日	(木)	総務委員会
8日	(水)	本会議／討論・採決

目 次

- 6月定例会 …… 2
- 委員会報告 …… 4
- 質疑・一般質問 …… 6
- 特集記事 …… 13
- 採決結果 …… 15
- 編集後記 …… 16

編集・文責／八代市議会広報委員会

YATSUSHIROSHI

6月定例会

GIKAI

６月定例会は、６月１５日から７月８日まで開催され、条例議案５件、予算議案３件、人事議案３件、その他１３件を審議し、議案は全て可決されました。

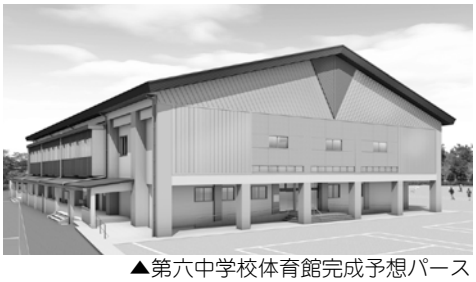
条例制定・改正など（主なもの）

可決

八代市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定について

※いじめ防止対策推進法に基づき、いじめ防止等に関する機関及び団体の連携等を図る協議会を設置するもの。

契約の締結について



▲第六中学校体育館完成予想パース

工　事　名：第六中学校体育館改築工事
工 事 場 所：八代市水島町
契 約 金 額：4億716万円
契約相手方：藤永組・鶴山建設建設工事共同企業体

契約の締結について

▲千丁小学校校舎

工　事　名：千丁小学校校舎耐震改修工事(棟番号１外)
工 事 場 所：八代市千丁町新牟田
契 約 金 額：3億1,320万円
契約相手方：和久田建設・豊岡組建設工事共同企業体

財産の貸付けについて

土地及び建物の所在地：八代市東町（旧宮地東小学校）
相 手 方：株式会社Ｂｅ　ｂｌｏｏｍ（福岡市）
貸付期間：平成２７年７月８日から平成３０年３月３１日まで
貸 付 料：平成２７年７月８日から１年間…無償、２年目以降…月額15万円
使用目的：社員の研修及びスポーツ合宿等

予算（主なもの） 平成２７年度 一般会計補正予算 特別会計補正予算 可決

平成27年度一般会計補正予算 6億6,421万円

携帯電話等エリア整備事業

・坂本町袈裟堂地区に基地局、伝送路等の整備を行うもの。

3,261万2千円

財源内訳：
分担金 362万円
県支出金 2,172万4千円
市債 720万円

日奈久温泉観光振興事業

・「第２４回全国山頭火フォーラム」実施に要する経費を拡充し、総事業費100万円とするもの。（うち57万円は既決予算）

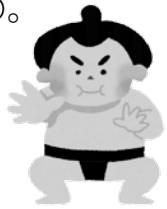
43万円

財源内訳：諸収入 100万円

新市誕生10周年記念事業

◆大相撲八代場所

・新市誕生10周年記念事業「大相撲八代場所」を実施するもの。



534万8千円

大還自治会コミュニティセンター建設事業

・老朽化している鏡町大還公民館コミュニティセンターの建てかえに対する補助。

1,050万円

財源内訳：諸収入 1,050万円

伝統文化財保存事業

・上鏡獅子組保存会及び中島町町内会が実施する衣装整備に要する経費に対する助成。

500万円

財源内訳：諸収入 500万円

クルーズ客船を通じた観光客誘致事業

・商店街、日奈久などへのシャトルバスの運行、八代港へのWi-Fi設置等を行うもの。

697万7千円

財源内訳：県支出金 348万8千円

放課後児童健全育成事業

・送迎支援や支援員の処遇改善、障がい児受け入れの強化、小規模クラブの支援に要するもの。

3,536万6千円

財源内訳：国庫支出金 1,178万7千円
県支出金 1,178万7千円

委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、八代市議会においては、四つの常任委員会に付託され審議がなされています。これらの委員会で審査・調査を行った結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、七月八日に行われた常任委員会の委員長報告を抜粋して掲載いたします。

建設環境委員会

◆平成二十七年度八代市一般会計補正予算・第二号・道路橋梁施設災害復旧費並びに河川施設災害復旧費について

問 豪雨等により災害が発生するおそれのある区域について、事前に把握をしているのか

答 土砂災害特別警戒区域については、県で把握をしている。また、今回発生したような法面崩壊による災害危険箇所への本市の対応としては、市内全域で調査を実施し、優先順位をつけながら、法面の強化を図っているところである。

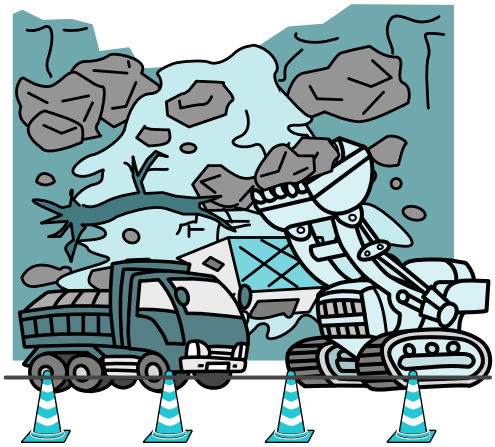
問 災害復旧工事については、国や県からの予算措置があると聞いているが、災害に備えた法面の強化工事については、何らかの措置はあるのか

答 国の交付金事業をできる限り活用しながら、工事を実施している。また、今後も関係機関に対し、積極的な要望活動を行い、予算獲得に努めていきたい。

意見 災害復旧工事については、早期完了を目指して取り組んでいただきたい。

その他の主な質疑

○豪雨時における通行規制の基準となる雨量の観測地点について



文教福祉委員会

◆平成二十七年度八代市一般会計補正予算・第一号・学校・家庭・地域の連携協力推進事業について

問 本事業の対象校として二見中学校三年生、坂本中学校全学年を選定した理由及び、それぞれの中学校において対象となる学年が異なることについて

答 今回対象とした二校については、これまでも生徒の自主学習に対する支援に先進的に取り組んでおり、本事業の活用について学校側からの要望もあったこと、さらに、地理的要件の面から、他の校区と比較して、塾などを活用する機会も少ない状況がみられることから、モデル校として選定した。また、対象学年の違いについては、それぞれの学校からの要望に沿ったものである。

問 本事業の選定については、地理的理由のみなのか

答 地理的理由のほかに、制度の趣旨としては、経済的理由から塾に行けない、あるいは、家庭内学習の場が得にくいなどの条件もあることから、さまざまな要素を含めて子供たちの学ぶ環境づくりを整えたいという理由から選定したものである。

意見　特定地域だけを事業の対象とすると、公平性に欠ける部分も出てくると思われる。基礎学力の向上及び学習習慣の定着の問題は、地理的理由を抱えた地域のみならず、都市部においても同様であるため、今後は、本市全体の問題として推進願いたい。

その他の主な質疑

○放課後児童支援員等の処遇改善に対する補助積算根拠について
○障がい児受入強化推進事業における障害児の定義及び対象学年について
○学習支援員の人数及び謝礼・費用弁償の積算根拠について
○現在の学校教育における学習塾の位置づけについて
○教育研究校推進事業（中学校）におけるハイパーQ－U委託の内容について
○教育研究校推進事業における補正予算の積算根拠及び必要となる経費の内容について
○本市におけるスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの人数について
○教職員の人事異動に伴ういじめ問題対策連絡協議会委員の任期について

経済企業委員会

◆平成二十七年度八代市一般会計補正予算・第一号・クルーズ客船を通じた観光客誘致事業について

問　本年度十隻のクルーズ客船が寄港予定となっている中で、既に、うち二隻が寄港済みであるが、今回の補正分は寄港済みの分も対象となるのか

答　対象となるのは、本予算議決後に寄港する七隻分であり、寄港済み分等については、当初予算にて対応している。

意見　これほど多数のクルーズ客船が本市に寄港するのは初めてであり、客船の対応については、困難を有すると思われるが、寄港のたびに客層についての、さまざまな情報を共有し、お客様に喜んでもらえるような受け入れ体制をとっていただきたい。

その他の主な質疑

○クルーズ客船寄港の際のシャトルバス運行予定台数について
○廃棄ビニール処理に伴い、これまで企業で使用されていた計量機器の活用及び農家の負担額の影響について

総務委員会

◆財産の貸付けについて

問　旧宮地東小学校を、団体専用宿泊施設として貸し付けるということであるが、どのような団体を受け入れることを想定しているのか

答　借り主としては、職場関係の研修やスポーツ合宿、あるいは体験学習等の団体を誘致したい考えである。

意見　市有資産の活用については、これまでも議会からさまざまな意見が出されているが、市においても長寿命化による継続した施設の利用も含め、施設の有効活用に努めていただきたい。

その他の主な質疑

○契約期間終了後における本施設の活用方法について
○施設の入浴設備等について

質疑 一般質問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、６月２２日から２５日までの４日間、１９人が通告・登壇し、幅広い活発な議論が展開されました。

教育関連

堀口　晃

質問通告

○八代市（中央）公民館について
○八代城跡公園のお堀の環境整備について

◆八代市（中央）公民館について

問　平成二十八年四月一日から八代市中央公民館体制に移行し、場所については、千丁町のパトリア千丁に設置するとのこと。余りにも突然の話である。地域の住民自治地域協議会への説明もなく、パトリア千丁に決めることは遺憾なことで、教育委員会は説明責任を果たしていない。地域協議会へ説明し意見を聞く必要があると考えるが教育委員会の考えを問う。

答　**教育部長**　住民自治によるまちづくりを推進する具体的方策として平成二十八年四月をめどに、校区公民館をコミュニティセンター化することが政策決定された。これを受け、教育委員会では、校区公民館で行ってきた公民館活動を継続・発展・充実させるために、中央公民館体制へ移行することとし、既存施設の有効活用を視野に入れ検討を行った結果、パトリア千丁を位置づけた。今後も地域及び関係団体に対して、十分御理解いただけるよう努めてまいりたい。

亀田　英雄

質問通告

○坂本町社会教育センター等の見直し（案）について
○日本創成会議の提言について
○市有施設の整備計画について
○市庁舎建設について

◆坂本町社会教育センター等の見直し（案）について

問　坂本町の社会教育センターは、現在の八竜小学校に統合する以前の小学校施設である。以前これらの施設の多くを将来的に解体するという担当課の話を伺った。そのときは大変なことになりはしないかと心配し、その後の動向に注視していたことであった。最近、さまざまな市民の声と切実な願いが聞こえてくるが、現在の取り組みの進捗を伺う。

答　**教育部長**　市内八カ所の社会教育センターについて整理計画の策定を進めている。これまで説明会を行ってきたが、地域のよりどころであり、何とか残してほしいとの声もあり、意見や希望を取りまとめてきた。そこで、全庁的な課題として取り組むために「既存施設利活用調整会議」を立ち上げた。このことを進めるには、地域の皆様に御理解いただくことが大切であると認識しており、既存施設の有効活用の可能性や方策について連携を図り、十分協議重ねを進めていく。

行政関連

村上　光則

質問通告

○スポーツ施設の充実について
○本市の伝統産業である和紙づくりについて
○本市におけるごみ屋敷への対応について
○本市の財政状況について

◆本市の伝統産業である和紙づくりについて

問　歴史ある宮地の紙すきなどの伝統文化について学ぶことは、地域社会に貢献してきた先人や、年長者に尊敬と感謝の念を深め、子供たちを育成していく上でも大変意義のあることと考える。後継者がいないのであれば本市の高等学校等へ協力をお願いするなど、伝統ある文化財としても価値のある紙すきを八代の宝として残すための取り組みについて伺う。

答　**教育長**　本市においては、いくつかの学校で、地域の方や保護者の協力のもと、伝統文化の体験学習を行っている。各地域に残る伝統文化は、本市にとって貴重な財産であり、後世に伝えていく意義は大きい。そのためにも子どもたちに先人から伝わる技術や文化について学ばせる機会を大切にし、郷土を愛する心を育てることで、将来の後継者育成の基盤となる伝統文化への関心を持つ子どもがふえることが期待できるものと考える。

太田　広則

質問通告

○耐用年数の過ぎた市営住宅について
○市街地循環バスの利用状況と改善策について
○ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した反転授業について

◆市街地循環バスの利用状況と改善策について

問　市街地循環バスについては数回質問を重ねてきた。本年十月で運行開始丸五年となる。直近の利用状況について伺う。

答　**企画振興部長**　平成二十六年度の月平均利用者数は、みなバスが一万四千八百四人、ゆめバス六千六百四十三人、まちバスが二千二百二十三人で、みなバス、ゆめバスが増加傾向で、まちバスが横ばい状況である。

問　さらなるバス利用促進策として、県営運動公園、外港方面への循環バスを提案する。企業も多くクルーズ船見学客やスポーツ関係者等利用者は多いと考える。市の考えを伺う。

答　**企画振興部長**　外港地区の企業、従業員に対し、アンケート等で意見を聞く等、働きかけを行っていく。

問　平和町線に平和町四つの集落を回る要望を行ってきた。その後の状況を伺う。

答　**企画振興部長**　一平方キロメートル、千人に満たない人口密度区分に平和町は該当するが、公共交通不便地域が存在しており、早期に地域の皆様の御意見を踏まえ対応したい。

前川　祥子

質問通告

○地方版総合戦略について
○結婚活動支援事業について
○平成二十七年度の本市の組織機構改革について

◆地方版総合戦略について

問　地方創生事業の現状と取り組みを問う。

答　**企画振興部長**　昨年九月に「やつしろ・まち・ひと・しごと対策本部」を設置、国の交付金を活用し地域消費喚起・生活支援型としてプレミアム付商品券発行事業等二事業、また地方創生先行型として十八事業と全体で二十事業、三億六千八百万円の事業に取り組んでいる。

問　現段階での具体策と今後の予定を伺う。

答　**企画振興部長**　本市運営の基本政策である市長八策と国の総合戦略の四つの基本目標の方向を踏まえ、本年十月中に地方版総合戦略を策定予定である。

問　農業と観光を生かした大規模観光物産館をつくり、本市と日本全国の特産品をそろえ、観光の目玉にすることを伺う。また、産業振興のため規制緩和策の国家戦略特区の活用を問う。

答　**企画振興部長**　本市各地域の物産館や商店街の活用を含め「交流人口の拡大・促進」につながるよう検討し、国家戦略特区の活用も含め、効果的な方策を選択していく。

堀　徹男

質問通告

○校区公民館のコミュニティセンター移行について
○災害時の避難及び避難所について
○ＡＥＤの管理状況と配置について

◆ＡＥＤの管理状況と配置について

問　ＡＥＤは適切な管理のもとにいつでも使用できる状態が必要である。そこで、現在の市有施設への配備と管理状況について伺う。

答　**総務部長**　ＡＥＤについては設置義務や設置基準はないが、本市では不特定多数の利用者のある公共施設には全て設置され、各施設の責任で管理が行われている。また、設置施設の管理形態の変更に合わせ逐次、配置がえを行っている。

問　本市では、球磨川河川敷等での屋外スポーツも盛んに行われ市内外の来客もある大会も開催されている。心肺停止事故リスクが高いとされる屋外で実施される屋外スポーツイベント等にＡＥＤを貸し出すことはできないか伺う。

答　**経済文化交流部長**　屋外スポーツ施設においては、ＡＥＤの設置が難しくスポーツイベントを運営される団体にとっては貸し出しＡＥＤがあれば安心して大会運営が実施できることから、ＡＥＤの貸し出しやその管理方法について今後検討していきたい。

大倉　裕一

質問通告

○不当要求防止の対応について
○地域公共交通について
○財政状況と財政計画について

◆地域公共交通について

問　地域公共交通は、市民生活を支えるものであり、さらには、観光など人の交流からも、利便性の高い公共交通を確保していくことが必要である。バス路線に関しては、利用者からのさまざまな要望や苦情がある。具体的対応と利用促進策を伺う。

答　**企画振興部長**　ＪＲ九州のダイヤに合わせたバス運行時刻の見直しを初め、バス事業者とも打ち合わせを行い改善に努めている。今後もできるところから改善を図っていく。利用促進にあっては企業や学校に対し、公共交通を有効活用いただけるよう情報提供や利用のきっかけづくりと働きかけを行った上で、通勤・通学に対して最適な路線と運行時刻等の意見をいただき路線見直しに反映していきたい。

問　市職員のバス通勤者は十一人である。職員のバス利用も進めるべきで、その考えを伺う。

答　**企画振興部長**　必ずしも多い数字ではない。担当課から啓発と情報提供を行う。

幸村　香代子

質問通告

○選挙制度について
○川内原発再稼働について
○健康寿命について
○大相撲八代場所について

◆選挙制度について

問　本年四月に行われた統一地方選挙は、過去最低の投票率を記録した。今後、投票率の向上のためには、投票機会の確保が必要であると考える。大型ショッピングセンターや大学構内で期日前投票を行っている自治体があるが、本市での検討状況について問う。また、高齢化に伴う対応策についてもあわせて問う。

答　**選挙管理委員会委員長**　市内の大型ショッピングセンターや大学構内で期日前投票を行うにあたっては、二重投票などの不正が発生しないよう、選挙人名簿対照のオンライン化が整備されなければ実行は難しい。しかし、そのオンライン化を待たずして、人口減少と高齢化は確実に進行する。仮に、人口減少を理由に投票区の統合を行うと、投票所へ行くことが困難な高齢者を生んでしまうことになりかねない。今後投票所までの移動手段を支援する方策等について、十分検討していかなければならないと考える。

橋本　隆一

質問通告

○教育研究校推進事業について
○持続可能な開発のための教育（ＥＳＤ）について
○本庁舎における窓口案内サービスについて
○各部における政策調整審議員の立場と役割について

◆本庁舎における窓口案内サービスについて

問　市民の多様なニーズに合わせて本庁舎の窓口案内サービスの充実が図られてきているように見受けられる。窓口案内サービスの目的と状況について問う。窓口案内員の後方に電話交換のブースが設置してあるが、着信音や会話がホールのほうにも聞こえることがある。ブースの立てつけも簡易であり見ばえも悪い。電話交換業務の音漏れと景観について問う。

答　**財務部長**　従来からのサービスとして、総合案内所にコンシェルジュを配置し、窓口案内業務と電話交換業務を行っている。また、聴覚等障がいがある方の各種手続が円滑にできるよう手話通訳を行っている。本年度から新たなサービスとして、外国語通訳者の配置のほか、市民課窓口では、フロアマネージャーを配置し、八月からは、証明書交付のワンストップ化を図り利便性を高める。なお、電話交換業務の声が漏れ聞こえる状況から、景観も含めた対応策を検討する。

島田　一已

質問通告

○本市の降雨時における排水対策について
○本市の職員健康管理と現状について

◆本市の職員健康管理と現状について

問　メンタル不調へ陥る原因はさまざまあるかと思われるが、本市職員のメンタル不調者の現状と健康管理について現在の取り組みを問う。また、メンタル不調は個人としての問題ではなく、職場全体として取り組みを考えねばならない課題である。本市として今後の課題とその対策について問う。

答　**総務部長**　本市職員のメンタル不調による休職者は昨年度は三名と減少傾向にある。平成二十六年度に職員に向け、心の健康づくりの活動方針及び推進体制、具体的な取り組みなどを示した「こころの健康づくり計画」を策定したところである。今後はメンタルヘルスへのさらなる理解、職場環境の改善、超過勤務者の対策など、今以上に職員のストレス要因の軽減を図るため、サポート体制を構築していくとともに、新たに始まるストレスチェック運用に向け準備を進めていく。

前垣　信三

質問通告

○新庁舎建設の基本構想策定の進捗状況について
○新庁舎の建設規模及び工事費算定根拠について
○厚生会館の将来について
○八代高校前の変則交差点改良について
○本市の将来像に対する市長の思いについて

◆本市の将来像に対する市長の思いについて

問　若者が減少し、後継者不足から全ての産業に八代の将来展望が見えない。その認識と、新庁舎財源として、議員を含む全職員を対象に五年間給与、報酬の二割を建設資金に充当する考えはないか。新庁舎建設に市民から多くの意見がある。千丁・鏡支所へ分庁して活用することを含め、市民にその是非を問う住民投票をする必要があると思うが、所信を伺う。

答　**市長**　人口減少社会の進行で行政運営はますます厳しくなる。国や県との連携を強固にし、将来にわたって衰退しないよう、持続可能なまちづくりに取り組みたい。人件費は合併当時と比較し、二十五％削減された。市庁舎は市民の情報を安全に管理し、災害対策本部として機能する施設でなければならない。被災して市民の生命や財産が奪われる前に、防災の拠点として市民を守るため、新庁舎建設を推進している。議会と情報を共有し議論して推進していけると考えている。

増田　一喜

質問通告

○一般廃棄物収集運搬業務委託契約について

◆一般廃棄物収集運搬業務委託契約について

問　本年八月三十一日で契約が満了となる一般廃棄物収集運搬業務委託契約について、今年度の新しい契約内容・入札参加資格要件について問う。また、今回公告された一般廃棄物収集運搬業務委託において、市の平成二十六年一月二十八日の最高裁判決に関する認識と、一般競争入札を導入した理由について問う。

答　**市民環境部長**　入札参加資格要件は、一般廃棄物処理業許可を有していること、廃棄物処理法に定める委託基準を満たす者であること、同種業務の受託経験があること等であり、設計額の見直しや最低制限価格の引き上げも行った。最高裁判決においては、一般廃棄物処理業の適切な許可処分、委託基準の遵守が求められており、本市ではこれを遵守している。また、法令や判決の趣旨を踏まえ、さらなる公平性・透明性・競争性の確保のため、一般競争入札を導入したものである。

経済関連

矢本　善彦

質問通告

○水産業の振興について
○アサリの現状と取り組みについて
○鏡オイスターについて
○やつしろ舟出浮きの現状と今後の課題について
○学校教育における漁業体験学習について
○一八代海北部沿岸都市」地域連携創造会議の取り組みについて

◆鏡オイスターについて

問　鏡町漁協では、アサリの不漁やノリ養殖の衰退など厳しい状況を踏まえ、新たにカキの養殖を始めている。現在では、生産から販売までの六次産業として、漁師直営の鏡オイスターハウスを運営している。先般、クマモト・オイスター発祥の地で復活への報道があっている。そこで、カキ養殖の取り組みと今後の課題について問う。

答　**農林水産部長**　本市では、これまでに鏡オイスターハウスなどの整備に対する補助などの支援を行ってきたところである。鏡町漁協で生産されたマガキについては、鏡オイスターとして認知されるようになるなど、ブランド化が図られつつある。また、クマモト・オイスターについては、ことし六月に鏡町漁協として初めて、生食用として出荷されたところである。カキ生産技術の向上や販路拡大などの課題はあるが、今後も県と連携しながら、引き続き支援していく。

笹本　サエ子

質問通告

○八代地域人権オンブズパーソン休止問題について
○スーパー元気券の取り組みについて
○廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく本市のごみ対策のあり方について

◆スーパー元気券の取り組みについて

問　他自治体では国の交付金によるプレミアム付商品券発行事業を活用した住宅リフォームへの取り組みが積極的に行われている。例えば一人当たりの購入額を引き上げて使い勝手を良くする工夫をしている。今からでも本市の制度設計を見直すことはできないか。また、次年度からの本格的な住宅リフォーム助成制度への考えはないか。本市の考えを伺う。

答　**経済文化交流部長**　限られた財源の中でより多くの方々が恩恵を受けられるよう、さまざまな分野で使えるような制度設計を目指した。確かに、住宅リフォームをする際に一人当たりの購入限度額十万円では不足するかもしれないが、家族全員でまとめて購入するなど、今の制度設計内でも対応できるかと思われる。今後の住宅リフォームへの取り組みについては、このスーパー元気券事業を通してリフォーム需要などを検証していきたいと考えている。

村川　清則

質問通告

○第二郡築排水機場について
○土地改良について
○ごみ問題について
○受粉用セイヨウオオマルハナバチの現状について
○農業資材適正処理推進事業について

◆第二郡築排水機場について

問　干拓地である八代平野の末端に位置する郡築校区の湛水被害を解消するため、従来より排水機場が整備されてきた。しかし、上流域の河川改修や開発などにより、豪雨時には現在の老朽化した郡築、大砲二カ所の排水機がフル回転しても追いつかない状況にある。そこでこのたび、工事が始まった第二郡築排水機場の概要、能力、予算額、今後の予定を伺う。

答　**農林水産部長**　第二郡築排水機場は、県営事業の排水対策型で建設し、毎秒二十六トンの排水能力を有する施設である。総事業費は、現時点で二十五億一千万円である。今後のスケジュールとしては、排水機場建設地の地盤改良や吸水槽、吐き出し樋門などの工事を平成二十九年度までに終了し、建屋の建設や主ポンプなどの機器類の設置を平成三十二年度までに完了する予定である。

中山　諭扶哉

質問通告

○やつしろ全国花火競技大会について
○クルーズ客船寄港に伴う観光行政について
○ビッグデータの利活用について

◆やつしろ全国花火競技大会について

問　本年度のやつしろ全国花火競技大会は、新市誕生十周年記念事業として開催されるとのことであるが、昨年度の課題と本年度の取り組みについて問う。

答　**経済文化交流部長**　大会の遅延やバス客の落ち込みを課題と認識している。本年度は、安全対策及び有料観覧席の充実を図り、積極的に取り組みたい。また、団体優待席や市民招待席を新設し、にぎわい創出につなげたい。

問　細かい点に配慮され、本年度の大会も期待できるようであるが、近年、火薬などの花火原価高騰が問題となっているようである。花火業者の協力なくして大会の発展はないと考えるが、財政面について本市の対応を伺う。

答　**経済文化交流部長**　本年度は余興花火・ミュージック花火など、花火費についても充実を図り、花火レベルの向上を行いたい。九州唯一の花火競技大会としてふさわしいイベントとなるよう、状況を把握し執行してまいりたい。

野﨑　伸也

質問通告

○運動部活動の社会体育移行について
○トップアスリート事業について
○クルーズ客船について

◆トップアスリート事業について

問　指定強化選手には、大会や遠征費の一部助成もあり、選手推薦の方法や選考基準は厳格、かつ透明性が求められる。現行の選考方法と今後の改善策を伺う。また、小五から対象となることから、技術面よりもけがに負けない基礎体力づくりを主眼に、専門性の高い個別指導を通年で実施すべきと思う。あわせて、助成金の拡充も必要と考えるが見解を伺う。

答　**経済文化交流部長**　指定選手の選考については、学識経験者などで構成する選考委員会を設置し、選考基準に基づき国際・全国大会への出場やその成績を点数化するなどを行い、選考した。今後は、さまざまな広報媒体を活用し、さらなる事業の周知に努める。また、専門性の高い個別指導については、定期的に血液検査、運動負荷試験などを実施し、科学的データに基づいたけがの防止やコンディションづくり、種目特性に応じたトレーニングアドバイスを昨年度から実施している。

福祉関連

庄野　末藏

質問通告

○高齢者に対する福祉について
○沖町から新開町までの道路整備について

◆高齢者に対する福祉について

問 高齢化の進行に伴い、医療や介護の需要が高まっていく中、今後の高齢者の福祉について①施設の受け入れ状況や無届けの有料老人ホームについて伺う。②介護職を支える若者の減少と介護報酬に関する現状と課題及びその対策について伺う。③希望に沿ったサービスや利用できる制度及びその周知について伺う。

答 **健康福祉部長**　①施設には特別養護老人ホーム等があり、特別養護老人ホームにおいての入所待機者は約七百人。有料老人ホームは約六十カ所、約千百人が入居中。無届けと疑われる場合はケアマネージャーからの報告により実態把握に努めている。②介護報酬マイナス改定の一方で、介護職員への処遇改善加算が増額された。年度末に給与支払明細書等で確認予定。③制度周知はメディア活用に加え、地域包括支援センター等と連携しよりよいサービス利用となるよう周知を図る。

西濵　和博

質問通告

○大都市圏高齢者の地方移住構想（日本版ＣＣＲＣ構想）に対する本市の認識について
○県主体の医療提供体制改革における地域医療構想の策定と本市の医療政策ビジョンについて

◆県主体の医療提供体制改革における地域医療構想の策定と本市の医療政策ビジョンについて

問 政府は病院の病床数の推計を公表した。熊本県は全国で二番目に多い一万六百床の削減となっているが、東京圏からの高齢者の移住政策との整合性に対する受け止め方を伺う。

答 **健康福祉部長**　病床数削減と急性期医療の充実度の評価との整合性については、多少疑問を感じている。

問 県別の病床数の推計結果は、県が策定する地域医療構想に反映させる扱いになっているが、本市ではどのように見込んでいるか伺う。

答 **健康福祉部長**　八代地域の病床数はふえないと推察する。

問 患者・市民の声を医療政策に反映させるべき。本市は健康都市宣言をしているが、医療のあるべき姿を描いたビジョンはあるか伺う。

答 **健康福祉部長**　現時点では本市独自のビジョンはないが、必要性は十分認識しており議論を深めたい。

問 医療介護に要する市域の年間費用は一般会計予算の五百七十億円を上回る。医療の課題に対応する体制強化を提案するが考えを伺う。

答 **健康福祉部長**　体制づくりを検討する。

動議の提出

六月定例会開会日に、野﨑伸也議員ほか三人から議長不信任の動議が、続いて古嶋津義議員ほか十二人から議長信任の動議がそれぞれ提出されました。

採決の結果、賛成多数により議長信任案が可決され、これにより議長不信任案の議決は不要となりました。

その後、議長不信任案に伴う野﨑議員による趣旨弁明の発言中に、不適切と思われる内容があったとして、古嶋議員ほか四人から懲罰動議が提出されました。

採決の結果、起立多数により動議は可決され、同日付けで、本件に関する懲罰特別委員会が設置されました。

その後、同委員会において審議が行われ、地方自治法第百三十二条（品位の保持）に抵触したと決定されたため、同第百三十四条（懲罰理由）、同第百三十五条（懲罰の種類及び除名の手続）により、野﨑議員に対して懲罰を科すこと、また、その処分は戒告とすることが多数決により決定されました。

その結果に基づき、六月定例会閉会日の本会議において、委員長報告を受け討論・採決が行われた結果、賛成多数により処分が可決され、野﨑議員に対し、議長から戒告文の朗読が行われました。

七月臨時会

去る七月二十七日の一日間、臨時会が開かれました。

今回の臨時会は、まず、任期満了となる農業委員会委員の推薦についてを議題とし、四人を委員として推薦し決定しました。

続いて、市長から議案二件が上程され、審査の結果、それぞれ原案のとおり可決・承認されました。

◆農業委員会委員の推薦について

石岡孝士氏、小橋昇氏、本田あゆ子氏、山本洋子氏の推薦を決定。

◆専決処分の報告及びその承認について
（平成二十七年度八代市一般会計補正予算・第三号）

○補正予算額　一千四百十万円

六月三十日から七月一日にかけての豪雨で被災した市道や林道、河川施設等の災害復旧経費を補正するもの。

◆平成二十七年度八代市一般会計補正予算・第四号

○補正予算額　百二十二万四千円

米を中心とした土地利用型農業の競争力強化を図るため、地域営農組織等が規模拡大や新技術導入に必要な農業機械等を整備する経費の一部を補助するもの。

中学生議会が開催されました!!

８月６日、八代市議会本会議場において『新市誕生10周年記念　八代市中学生議会』が開催されました。

本事業は、将来の八代市を担う中学生たちが、身近な問題から自分たちの暮らすまちを見つめ直し、自分の夢や希望を提言することで市政への関心を高め、まちづくりに進んで参画しようとする意欲を育む場とすることを目的として行われ、八代市における中学生議会は初めての取り組みとなりました。

平成27年度八代市中学生議会　議員名簿・質問項目

（◎は議長、○は副議長）

通告順	学校名	氏名	質問項目
1	市立二見中学校	山﨑　礼登 議員 丸塚　　潤 議員	二見地区の過疎化対策について
2	県立八代中学校	田中　優香 議員 松田　従道 議員	全国花火競技大会に伴う本市への経済効果について
3	市立第五中学校	芳﨑　　澪 議員 近松　奈於 議員	図書館施設整備事業に伴うメリットについて
4	市立第四中学校	古川　泰成 議員 吉岡　龍志 議員	少子化・待機児童について
5	市立第一中学校	相良　信孝 議員 ○麦田　友佳 議員	スポーツに親しむことのできる環境づくりについて
6	市立第三中学校	宮坂　泰地 議員 西村　光稀 議員	活力ある商工業のまちづくりについて
7	市立千丁中学校	小嶋　悠吾 議員 江中　翔一 議員	新駅及びインター周辺の開発の実際とその経済効果について
8	市立第六中学校	園原　楓樹 議員 中川　晴喜 議員	奨学資金貸付事業における奨学金適用を判断する基準について
9	市立泉中学校	大倉　涼太 議員 押方　航平 議員	八代市の泉町地域振興について
10	市立東陽中学校	梅田美乃里 議員 氏原　隆晴 議員	小中一貫・連携教育推進について
11	市立第八中学校	竹田　健人 議員 福本　月菜 議員	宮地和紙や妙見宮など文化継承に対する市の方策について
12	市立八代支援学校中学部	山田　美里 議員 平川　紗那 議員	障がい者の自立と社会参加の支援について
13	市立鏡中学校	◎上田　将弘 議員 山田　駿音 議員	みなと八代フェスティバルについて
14	市立日奈久中学校	橋本いおり 議員 廣田　大翔 議員	６次産業化・農商工連携の推進について
15	市立坂本中学校	井手口蒼空 議員 鶴本　尚己 議員	土砂災害や震災に強いインフラ整備について
16	市立第二中学校	藤井　大地 議員 今井　玲華 議員	男女共同参画の推進について
17	市立第七中学校	西島　健生 議員 本田朝希子 議員	道路の整備について

※中学生議会の映像及び会議録は、市ホームページでの公開が予定されています。

『八代市中学生議会』は、市内１７の中学校から各校２人、総勢３４人の中学生が参加し、この中から選ばれた正副議長２人が午前と午後とで交代して議事進行にあたりました。開催に当たるまで、中学生議員の皆さんは質問の作成や事前研修会への参加などの準備を重ね、本会議が始まると堂々とした姿で登壇し発言が行われました。

また、質問の内容については、日ごろ感じている市政に対する疑問や要望・提案などにそれぞれの校区の特色も加わって、大変聞き応えがあるものとなっていました。

一方、質問に対して市長及び教育長等が市の現状や取り組みなどを答弁し、これを受けて、さらに、中学生議員から感想が述べられました。

各校の持ち時間は１５分と限られた時間ではありましたが、市議会本会議さながらに活発なやりとりが展開されました。

平成26年度分

本市の行政視察受け入れ状況

行政視察とは、議員が他自治体等へ出向き、各種施設や先進的な取り組みなどについての実情を直接把握することです。

本市においても全国各地の市議会等から行政視察の依頼があり、平成26年度は下記のとおり視察の受け入れを行いました。

主な調査項目と来訪自治体

Best 1 コミュニティバス・乗合タクシー運行事業

青森県青森市議会・千葉県八千代市議会
千葉県市川市議会・千葉県柏市議会　20人

Best 2 やっちろ認知症応援ネットワーク

栃木県真岡市議会・栃木県佐野市議会・山形県上山市議会　18人

Best 3 中心市街地活性化対策事業

富山県砺波市議会・千葉県野田市議会　16人

その他

トップアスリート育成事業

愛知県刈谷市議会・茨城県つくば市議会　11人

八代市教育サポートセンター事業

大阪府松原市議会　14人

事業仕分けと行政評価

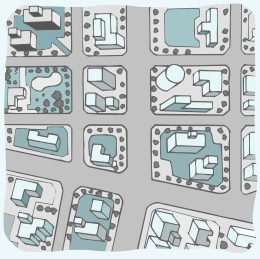
岩手県盛岡市議会　13人

便利で快適な交通基盤整備の取組み(八代市総合計画)

佐賀県議会　11人

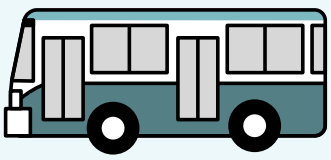
土地区画整理事業

兵庫県川西市議会　10人



◆このほかの項目について、下記議会の視察を受け入れました。

富山県射水市議会	9人	愛媛県四国中央市議会	9人
愛知県清須市議会	9人	愛知県春日井市議会	8人
三重県名張市議会	8人	北海道小樽市議会	6人
茨城県土浦市議会	5人	京都府城陽市議会	4人
東京都葛飾区議会	3人	青森県黒石市議会	2人



合計：25県市区議会　176人

平成２７年６月定例会採決結果

〔全会一致で可決した議案〕

議案番号	議　　案　　名
議案第５３号	平成２７年度八代市一般会計補正予算（第１号）
議案第５４号	平成２７年度八代市介護保険特別会計補正予算（第１号）
議案第５５号	専決処分の報告及びその承認について（平成２６年度八代市一般会計補正予算・第１３号）
議案第５６号	専決処分の報告及びその承認について（八代市市税条例等の一部を改正する条例）
議案第５７号	専決処分の報告及びその承認について（八代市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
議案第５８号	契約の締結について（第六中学校体育館改築工事）
議案第５９号	契約の締結について（千丁小学校校舎耐震改修工事（棟番号１外））
議案第６０号	財産の貸付けについて
議案第６１号	あらたに生じた土地の確認について
議案第６２号	町区域の変更について
議案第６３号	市道路線の廃止について
議案第６４号	市道路線の認定について
議案第６５号	八代市介護保険条例の一部改正について
議案第６６号	八代市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第６７号	八代市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の一部改正について
議案第６８号	八代市いじめ問題対策連絡協議会条例の制定について
議案第６９号	八代市簡易水道事業給水条例の一部改正について
議案第７０号	平成２７年度八代市一般会計補正予算（第２号）
議案第７１号	人権擁護委員候補者の推薦について（上田　優子氏）
議案第７２号	人権擁護委員候補者の推薦について（竹村　博文氏）
議案第７３号	人権擁護委員候補者の推薦について（家田　富造氏）

〔賛成多数で可決した議案〕

議案番号	議　案　名	橋本幸一	百田隆	田方芳信	村川清則	成松由紀夫	福嶋安徳	前川祥子	友枝和明	上村哲三	山本幸廣	松永純一	鈴木田幸一	増田一喜	中村和美	前垣信三	古嶋津義	庄野末藏	田中安	幸村香代子	中山諭扶哉	堀徹男	矢本善彦	島田一已	野﨑伸也	大倉裕一	亀田英雄	笹本サエ子	橋本隆一	太田広則	西濵和博	堀口晃	村上光則
—	野﨑伸也君に対する懲罰の件について	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	除	×	×	×	○	○	○	×	×
平成２６年陳情第６号	八代地域人権オンブズパーソン制度に係る抜本的見直しについて	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
平成２６年陳情第７号	八代地域人権オンブズパーソン制度の見直しについて	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

○＝賛成　×＝反対　－＝議長及び欠席者　除＝除斥（規定により採決に加われない）
※橋本幸一議員は議長のため採決には加わっておりません

全国市議会議長会
永年勤続議員表彰

去る6月17日に開催された全国市議会議長会第 91 回定期総会において、永年勤続議員表彰が行われ、本市議会では5人の議員が表彰を受け、6月定例会閉会日に表彰状が伝達されました。

鈴木田　幸一 議員(10年以上)　　友枝　和明 議員(10年以上)
村上　光則 議員(15年以上)　　橋本　幸一 議員(15年以上)　　矢本　善彦 議員(15年以上)

編集後記

議会だよりが前号より紙面の一部をカラーにし、また、質疑・一般質問のページも従来の一問一答方式に加え、さらに内容の充実をはかりました。皆様はどのように感じられたでしょうか。

常々、刷新が求められるのでありますが、議会改革論議の中で市議会だよりの充実が求められ、このような紙面となりました。

これからも市民の皆様に親しまれる、読みやすい紙面づくりをモットーに努力してまいりたいと存じます。

暦の上では秋とは言え、まだまだ暑い日が続きます。健康には留意されますように。

八代市議会広報委員会

◎本紙に関する御意見・御要望はこちらまで　☞TEL 32-5984・FAX 33-4440
市役所ホームページアドレス　http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/